

令和2（2020）年度 医療創生大学卒業生アンケート調査結果

【Ⅰ. 卒業生アンケート調査の概要】

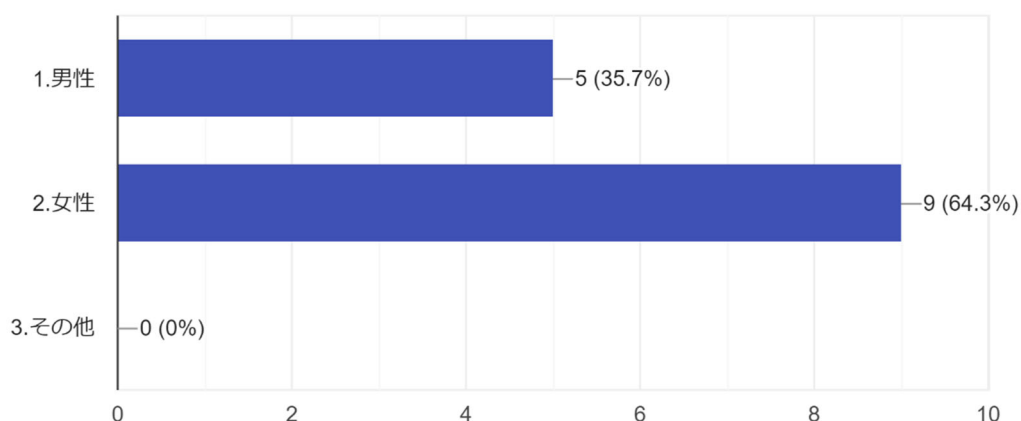
1. 実施期間：令和3年3月3日（水）～令和3年3月31日（水）
2. 調査対象：薬学部1期卒業生、及び薬学部6期卒業生 合計84人
（内、住所を把握している人数 74名）
3. 調査方法：同窓会事務局のご協力を得て、対象となる卒業生宛にアンケート調査についての案内を送付し、本学ホームページ上にある「卒業生」ページにて、Google アンケートフォームを利用した回答ページにより、回答を得た。
4. 回答者数：14名（18.9%）

【Ⅱ. 卒業生アンケート調査の回答結果】

1. ご自身のことについて

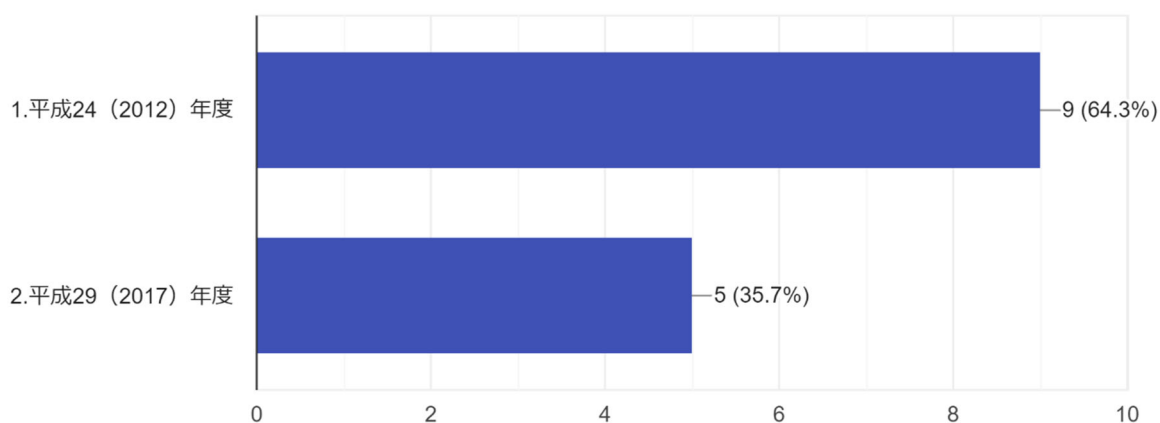
問1. あなたの性別を選んでください。

14件の回答



問2. あなたの卒業年度を選んでください。

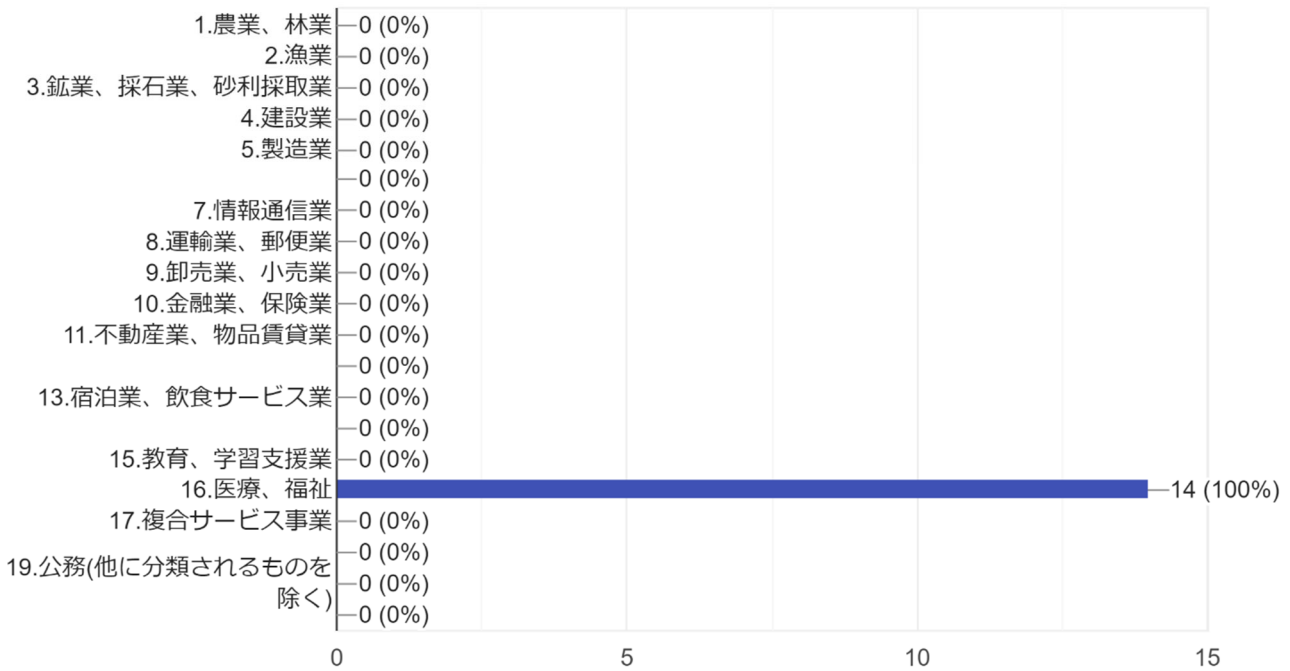
14件の回答



2. 勤務先について

問3. 勤務先の主たる業種を選んでください。

14件の回答



※項目文字数の過多により表示されていないため、以下に記載。

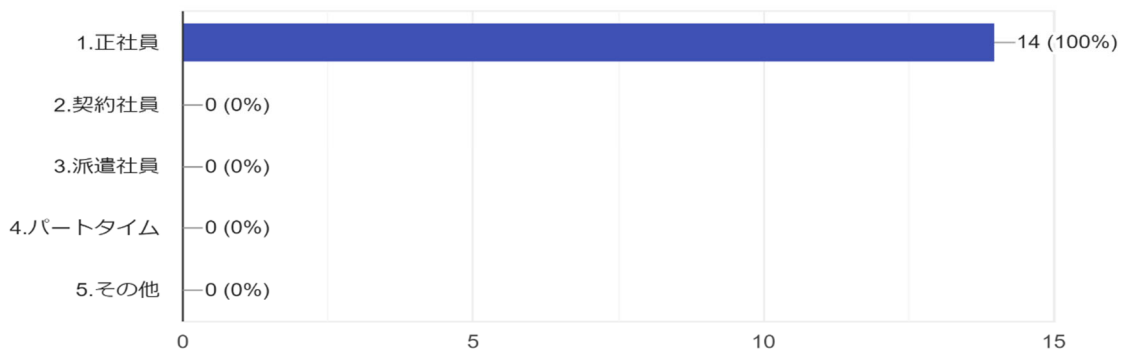
- 6. 電気・ガス・熱供給・水道業
- 12. 学術研究、専門・技術サービス業
- 14. 生活関連サービス業、娯楽業
- 18. サービス業(他に分類されないもの)
- 20. その他

問4. 上記問3で「その他」を選択した方は、業種をご記入ください。

0件の回答

問5. 勤務先での雇用形態について、該当する番号を選んでください。

14件の回答

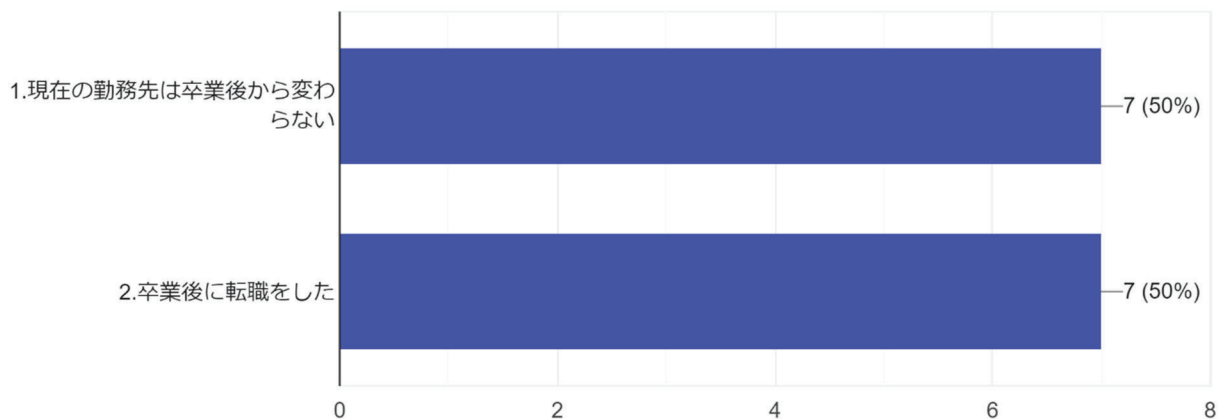


問 6. 上記問 5 で「その他」を選択した方は、雇用形態をご記入ください。

0 件の回答

問 7. 現在の勤務先について、該当する番号を選んでください。

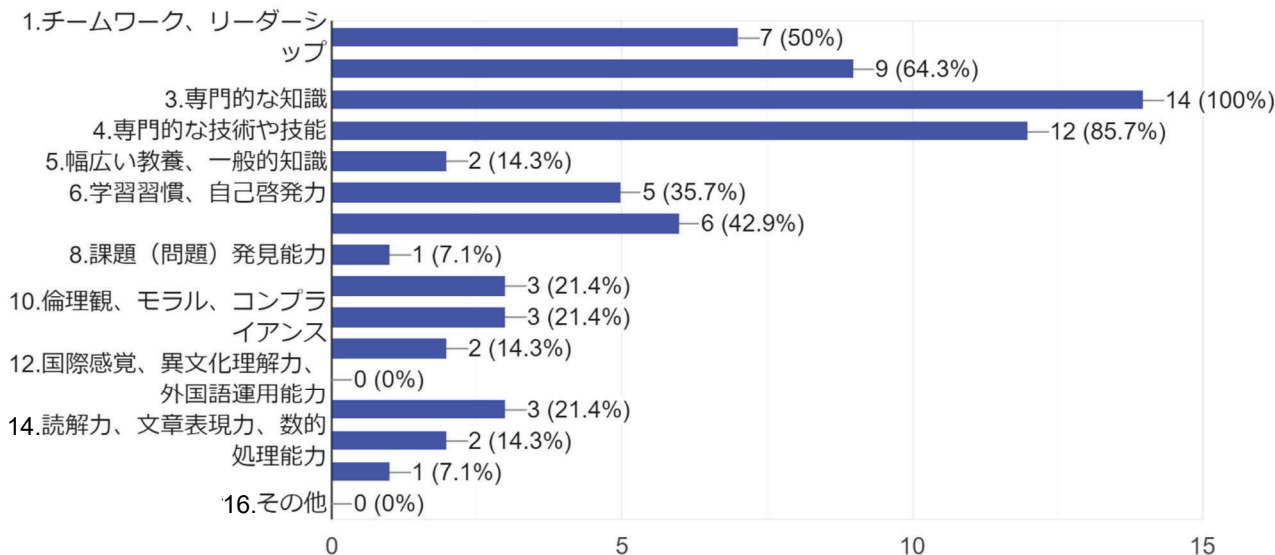
14 件の回答



3. 大学で身につけた力について

問 8. 在学中に身につけることができたと思うことを5つを選んでください。

14 件の回答



※項目文字数の過多により表示されていないため、以下に記載。

2.コミュニケーション能力

7.自己理解、自己管理能力、主体的行動力

9.課題（問題）解決能力、企画力、計画力

11.創造的、論理的思考力

13.社会人として必要な読解力、文章表現力、数的処理能力

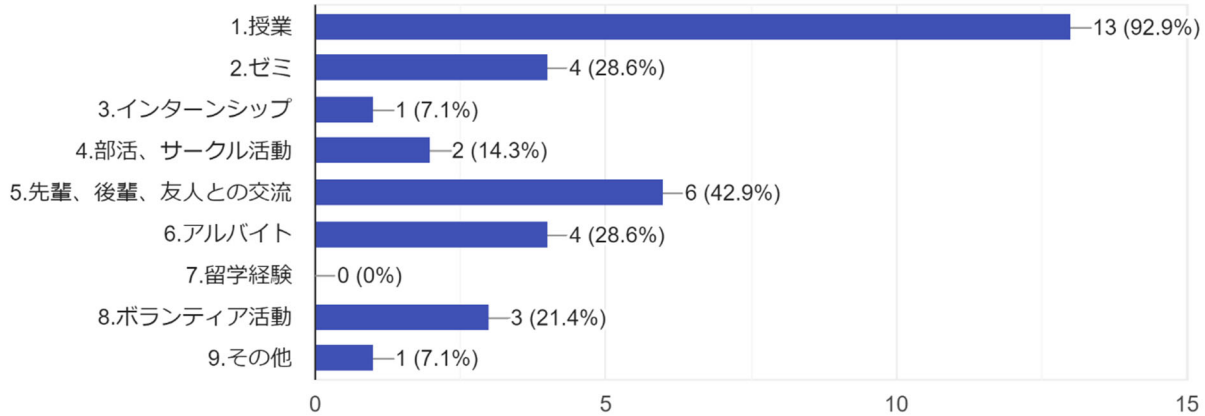
15.ボランティア活動

問 9. 上記問 8 で「その他」を選択した方は、身につけることができたと思うことをご記入ください。

0 件の回答

問 10. 上記問 8、問 9 で選択した力を身につける...何が役に立ったとお考えですか。（複数回答可）

14 件の回答



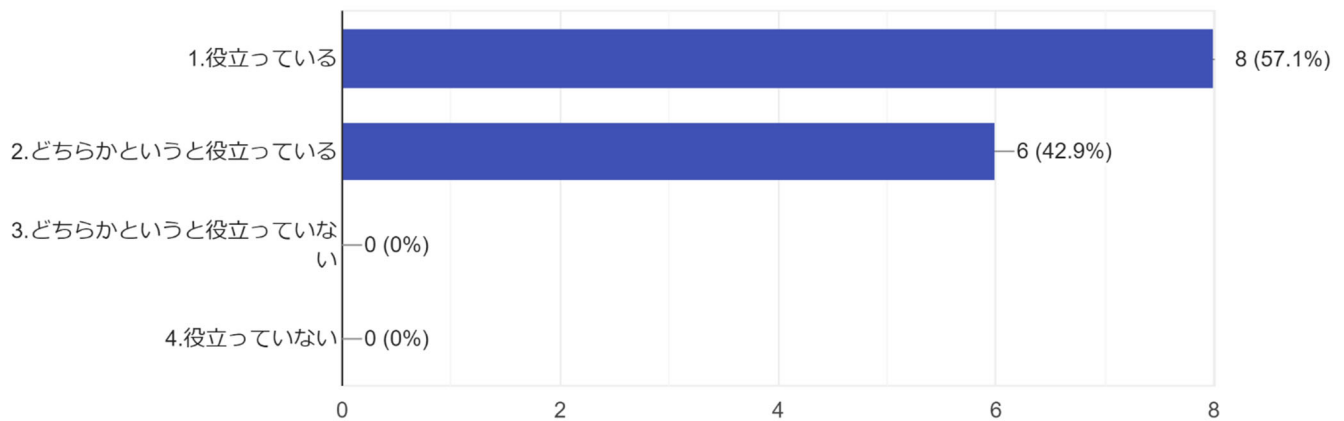
問 11. 上記問 10 で「その他」を選択した方は、役に立ったことをご記入ください。

1 件の回答

「海外研修への参加」

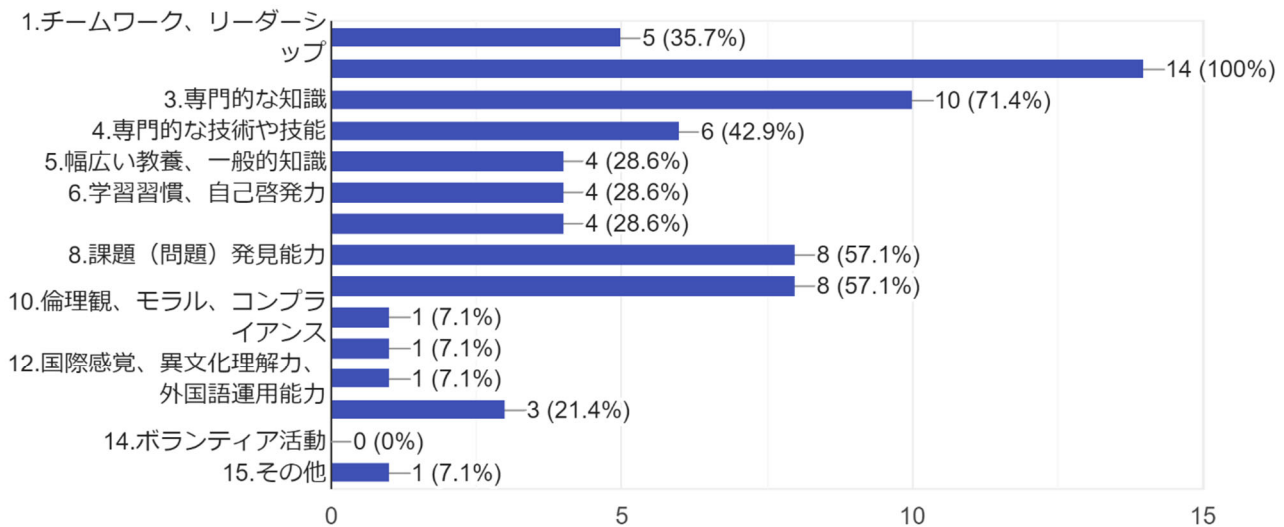
問 12. 在学中に身につけたことは、卒業後の社会生活や職業生活に役立っていますか。

14 件の回答



問 1 3. 実社会において必要と思うことを5つ選んでください。

14 件の回答



※項目文字数の過多により表示されていないため、以下に記載。

2. コミュニケーション能力

7. 自己理解、自己管理能力、主体的行動力

9. 課題（問題）解決能力、企画力、計画力

11. 創造的、論理的思考力

13. 読解力、文章表現力、数的処理能力

問 1 4. 上記問 1 3 で「その他」を選択した方は、実社会において必要と思うことをご記入ください。

1 件の回答

「怒られ耐性、愛情力」

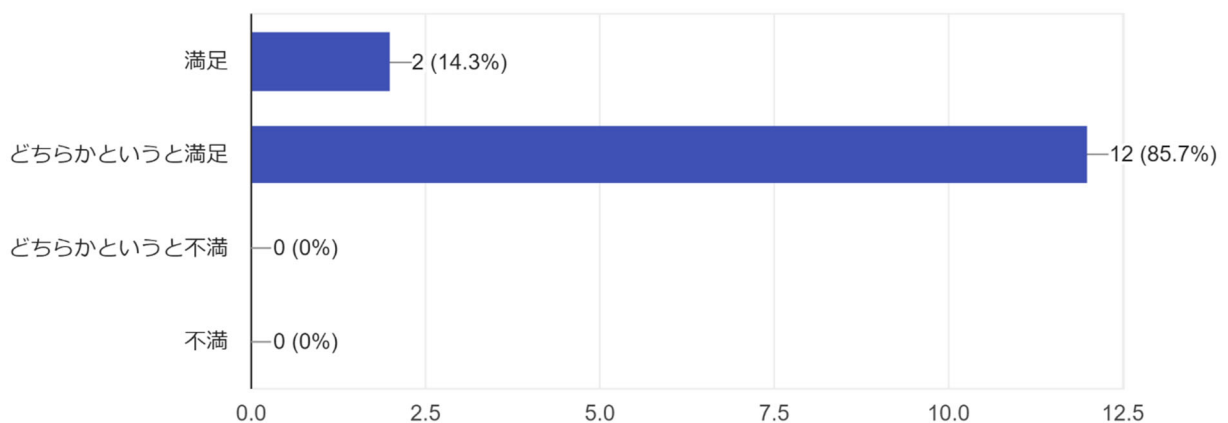
4. カリキュラム支援等について

問 1 5. 在学中の満足度について伺います。

...

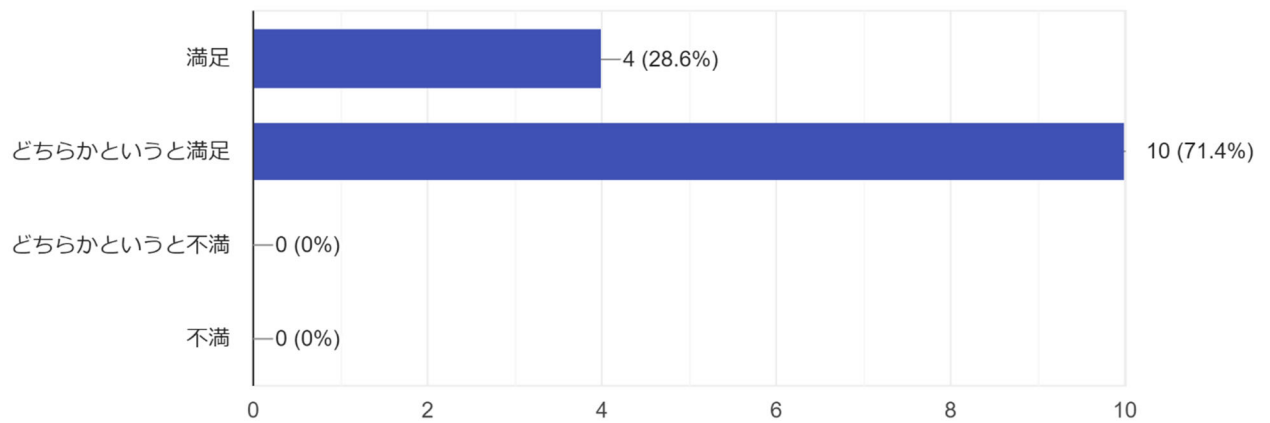
①教育内容（カリキュラム・授業内容）

14 件の回答



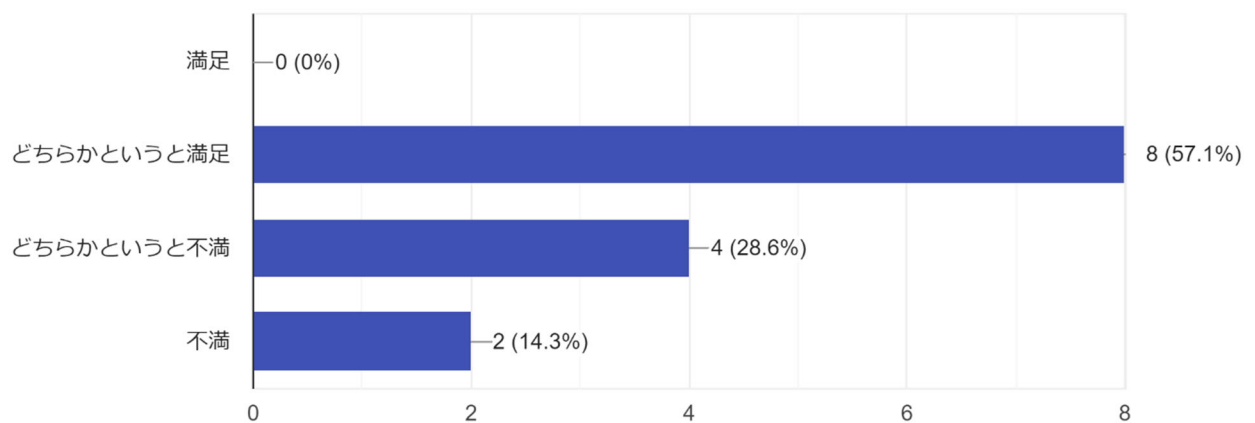
② 学生生活に対する支援

14件の回答



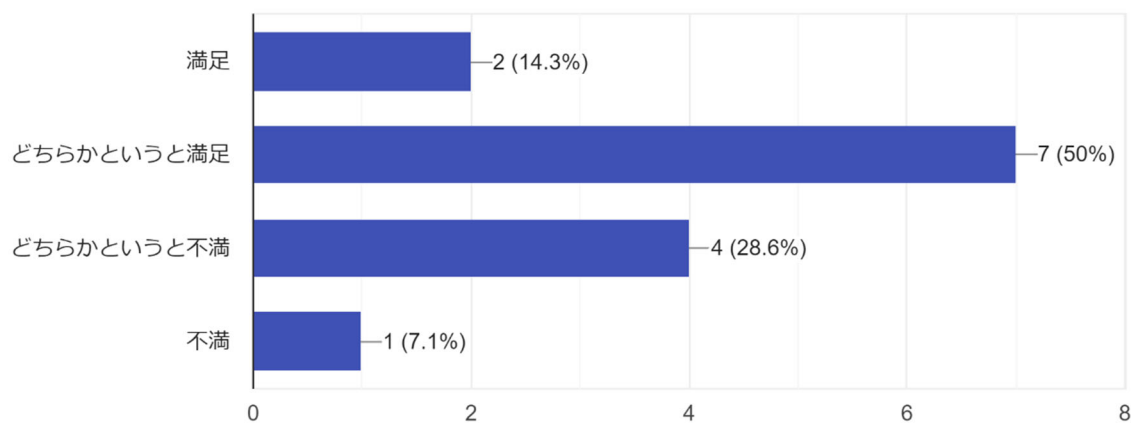
③ 部活動・サークル活動に対する支援

14件の回答



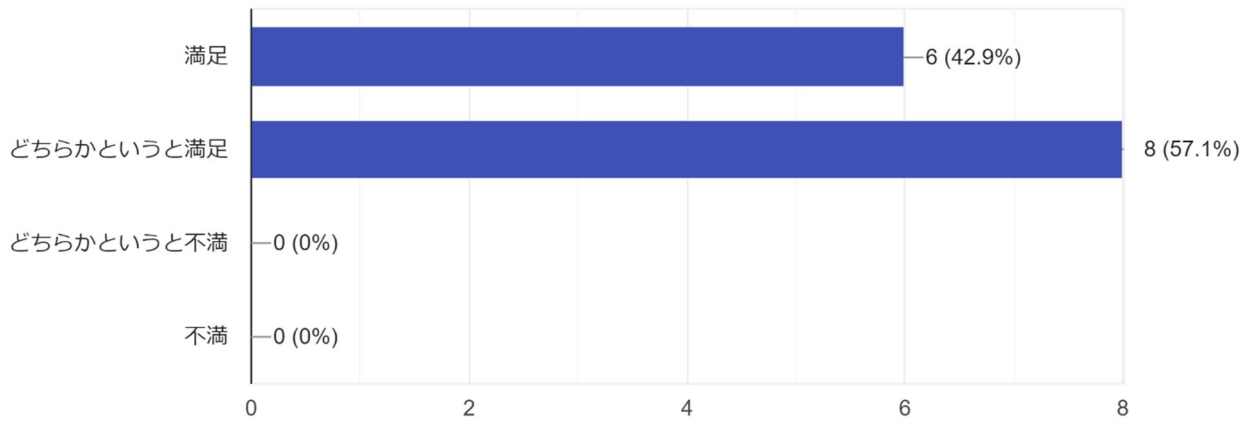
④ 就職支援・キャリア形成支援

14件の回答



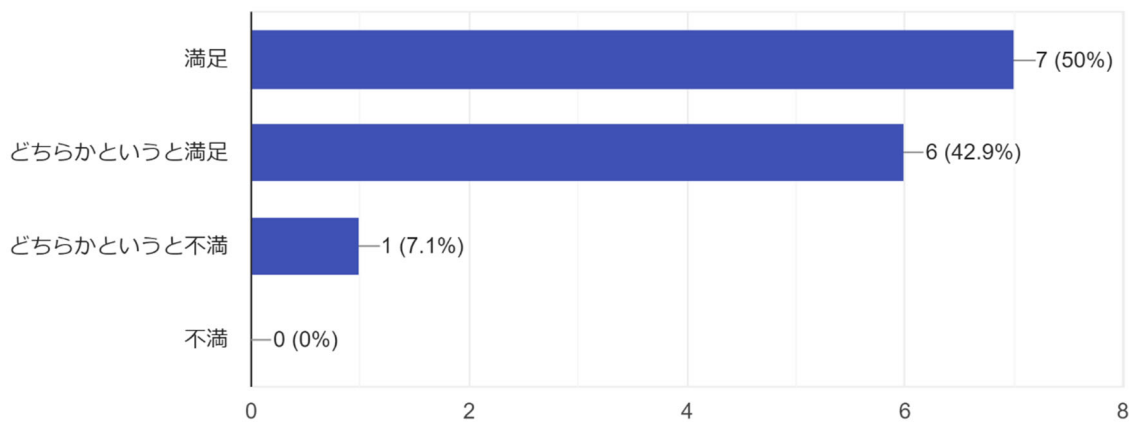
⑤ 資格取得支援

14 件の回答



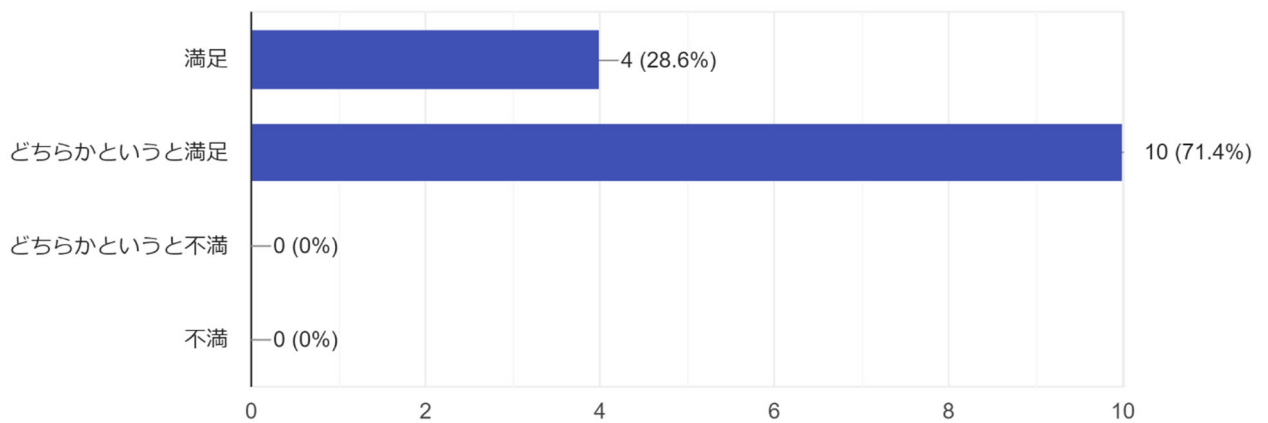
⑥ 図書館

14 件の回答



⑦ その他の施設・設備

14 件の回答



問 1 6 . 上記問 1 5 で「不満」を選択した方は、その理由をご記入ください。

2 件の回答

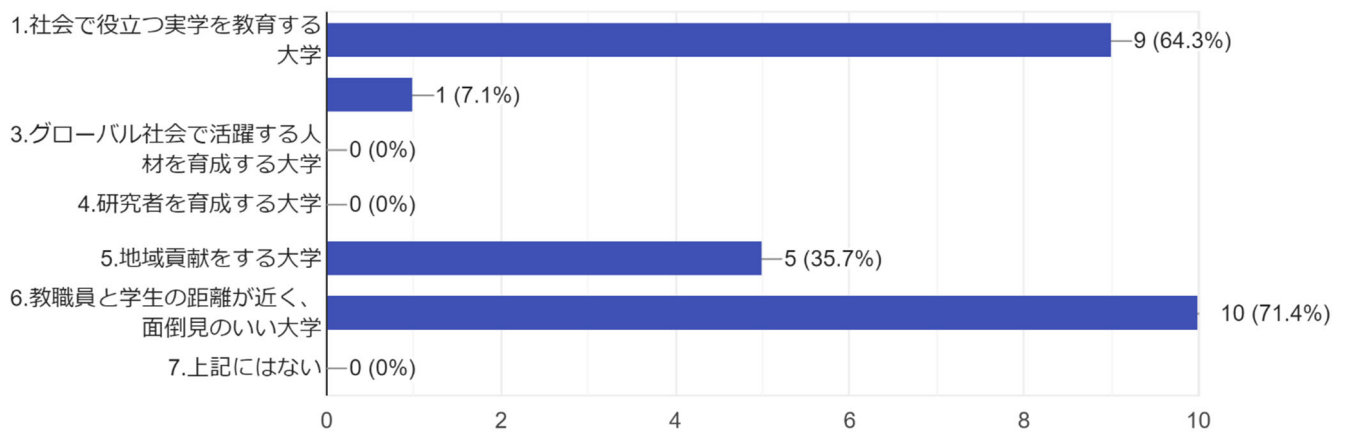
「キャリアサポートが臨機応変に対応してくれなかった。特に地元で実務実習を行っており、簡単に大学に行けない場合の就活に必要な書類などの対応が郵送では行えず、大変不便だった。」

「自分の参加したい部活動は、必要単位数の兼ね合いで、授業と時間が重なっていたため参加できなかった。」

5. 総合評価について

問 1 7 . 本学のイメージを選んでください。（複数回答可）

14 件の回答



※項目文字数の過多により表示されていないため、以下に記載。

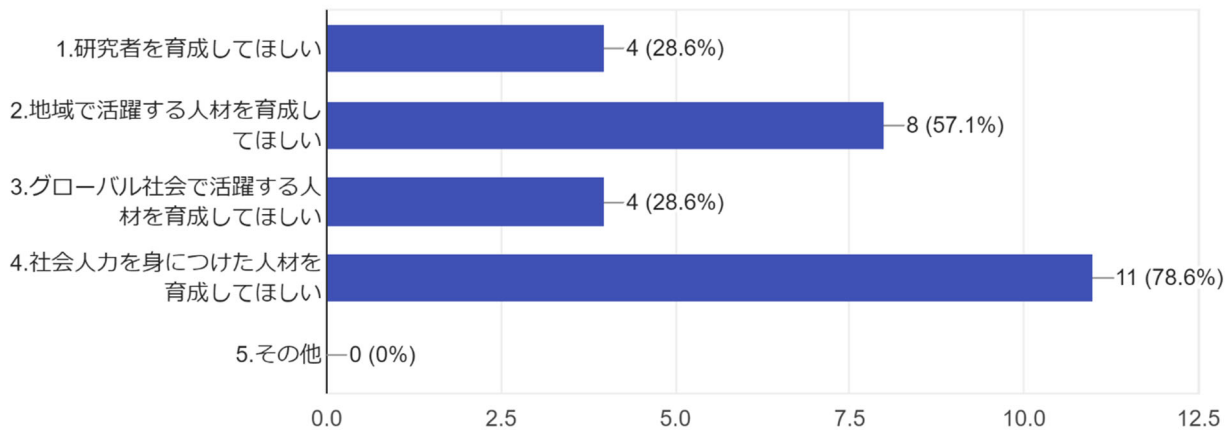
2.社会人力を身につけてくれる大学

問 1 8 . 上記問 1 7 で「上記にはない」を選択した方は、本学のイメージをご記入ください。

0 件の回答

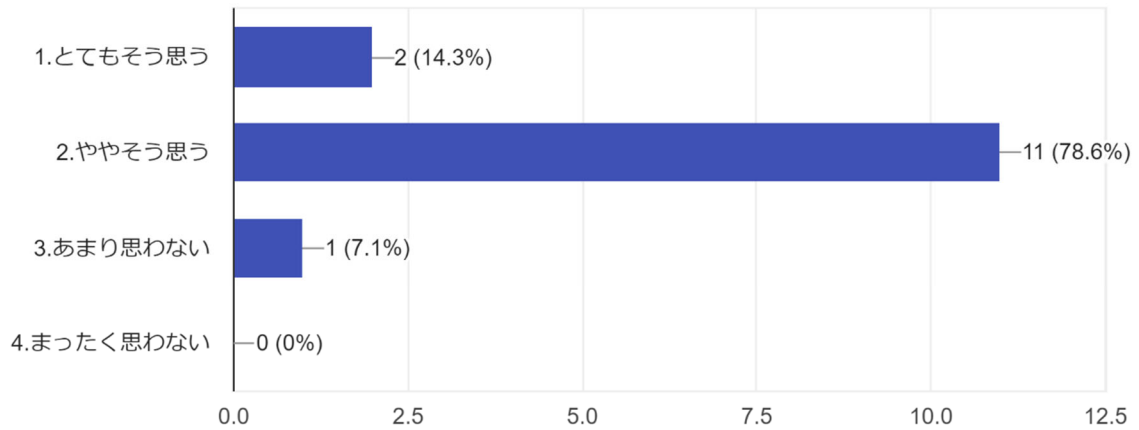
問 1 9 . 本学に望むことを選んでください。（複数回答可）

14 件の回答



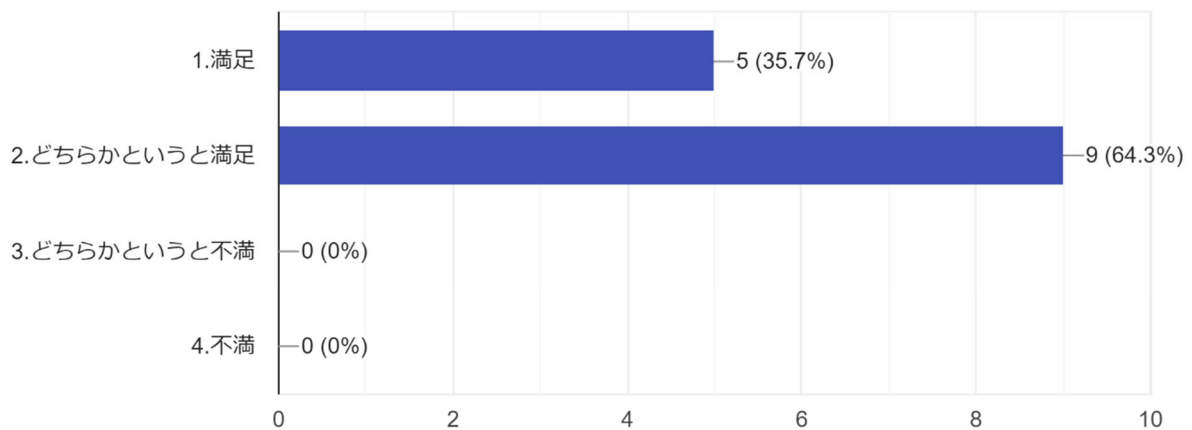
問 2 1. 家族や親せき、周囲の人に本学への進学を勧めたいと思いますか。

14 件の回答



問 2 2. 卒業学部学科に対する満足度をお伺いします。

14 件の回答



問 2 3. その他、何かご意見・ご要望がありましたらご記入ください。

2 件の回答

「辛い事も沢山ありましたが充実した学生生活を送ることが出来ました。益々のご発展をお祈り申し上げます。」

「特にありません。」

【Ⅲ. 総評】

今回の卒業生アンケートでは、協力を依頼した薬学部卒業生 74 名のうち 14 名の協力を得られた。14 名の回答者は、全員が正社員として医療・福祉関連の業種に就職している。なお、半数は現在の職場は卒業後から転職しているとの回答であった。

卒業生が在学中に身につけた能力として回答したのは、「専門的な知識」、次いで「専門的な技術や技能」、「コミュニケーション能力」であった。これは、薬学部におけるカリキュラムが講義や演習、実習を体系立てて実施され、且つ、少人数討論形式の教育が十分に機能していることを示したものであると推察される。なお、「国際感覚、異文化理解力、外国語運用能力」の回答者は 0 名であり、「ボランティア活動」「課題（問題）発見能力」については回答者が各 1 名であった。薬学部の教育研究上の目的として「問題発見能力と問題解決能力を備えた薬剤師を育成し、地域社会に有意な人材を送り出すことを目指す。」としていることから、課題（問題）発見能力、問題解決能力を養うための教育手法・内容等を検討する必要がある。

身につけた能力は、「授業」「ゼミ」「先輩、後輩、友人との交流」「アルバイト」が役に立ったとの回答が多く、授業以外の課外活動等においても大学として支援策を検討する必要がある。

在学中に身につけた能力は、卒業後の社会生活や職業生活に「役立っている」「どちらかというと役立っている」という回答が多く、薬剤師となった現在でも生きる能力であることが窺える。

薬剤師として勤務している現状から、実社会で必要と思うことは何かとの問いでは、「コミュニケーション能力」「専門的な知識」「課題（問題）発見能力」「課題（問題）解決能力、企画力、計画力」の順に回答率が高かった。

カリキュラム支援等について、教育内容（カリキュラム・授業内容）、学生生活に対する支援、資格取得支援、その他の施設・設備については、「満足」「どちらかという満足」との回答であった。

しかし、部活動・サークル活動に対する支援や就職支援・キャリア形成支援、図書館については、「不満」「どちらかという不満」との回答があった。回答には、「キャリアサポートが臨機応変に対応してくれなかった。特に地元で実務実習を行っており、簡単に大学に行けない場合の就活に必要な書類などの対応が郵送では行えず、大変不便だった。」、「自分の参加したい部活動は、必要単位数の兼ね合いで、授業と時間が重なっていたため参加できなかった。」とあったため、支援体制の見直しを図る必要がある。

総合評価について、本学のイメージは「教職員と学生の距離が近く、面倒見のいい大学」「社会で役立つ実学を教育する大学」「地域貢献をする大学」の順に回答率が高かった。これは、薬学部における教育活動、チューター制による学修・生活指導等、手塩にかけた教育が十分に評価されているものであると考えられる。

本学にどのような人材の育成を望むのかという問いに対し、「社会人を身につけた人材を育成してほしい」「地域で活躍する人材を育成してほしい」「研究者を育成してほしい」「グローバル社会で活躍する人材を育成してほしい」の順に回答率が高く、キャリア教育や研究力、国際感覚、異文化理解力や外国語運用能力を高めるための教育を充実させるため、検討しなければならない。

家族や親せき、周囲の人への本学への進学を勧めたいかとの問いに対し、概ね「とてもそう思う」「ややそう思う」との回答であったが、「あまりそう思わない」との回答が 1 名あった。

卒業した薬学部に対しての満足度は「満足」「どちらかという満足」であったが、卒業生全員が家族や親せき、周囲の人へ本学を勧めたいと思えるよう、総合的に大学としての魅力を高める施策を検討する必要がある、卒業生の方々が誇れる大学であるよう、日々努力することが大切である。

【Ⅳ. 改善課題の提言】

今回の卒業生アンケート結果から、在学中に専門的な知識、技術や技能、コミュニケーションを身につけられたが、実社会ではそれらに加え、課題（問題）発見能力や課題（問題）解決能力等の能力が必要であるとの意見を踏まえ、薬学部教育研究上の目的にある、「問題発見能力と問題解決能力を備えた薬剤師の育成」を達成するため、教育内容や指導方法の見直し、能力を身につけるための手法の検討を提言する。